

土木と建築の融合による まちづくり

入場無料・申込不要

日時 平成27年11月20日(金) 開場17:30 開演18:00 ~19:30

会場 茨城大学 図書館3階 ライブラリーホール

茨城大学大学院都市システム工学専攻の授業『景観まちづくり学特論』において、茨城県日立市がもつ近代化産業遺産を活用したまちづくりを提案する演習課題を実施し、過去から現在に至る施設の活用状況の変化、交通システムと施設立地の関係、観光と日常生活の相互作用など単体の施設計画を行うだけでは解決できない複雑な問題が見出され、土木と建築を一体的に考えたまちづくりの重要性が導かれた。

今回の公開シンポジウムでは、『土木と建築の融合』を提言されている建築家・團紀彦先生にご講演いただき、土木と建築の融合によるまちづくりを考えていきたい。

プログラム

司会・コーディネーター／熊澤 貴之

開会の挨拶

茨城大学長 三村 信男

教育方針についてのご説明

茨城大学工学部における土木と建築の教育

茨城大学工学部長 馬場 充

基調講演

「土木と建築の融合」

講師 團 紀彦 建築家／都市計画家
(株) 團紀彦建築設計事務所 代表取締役

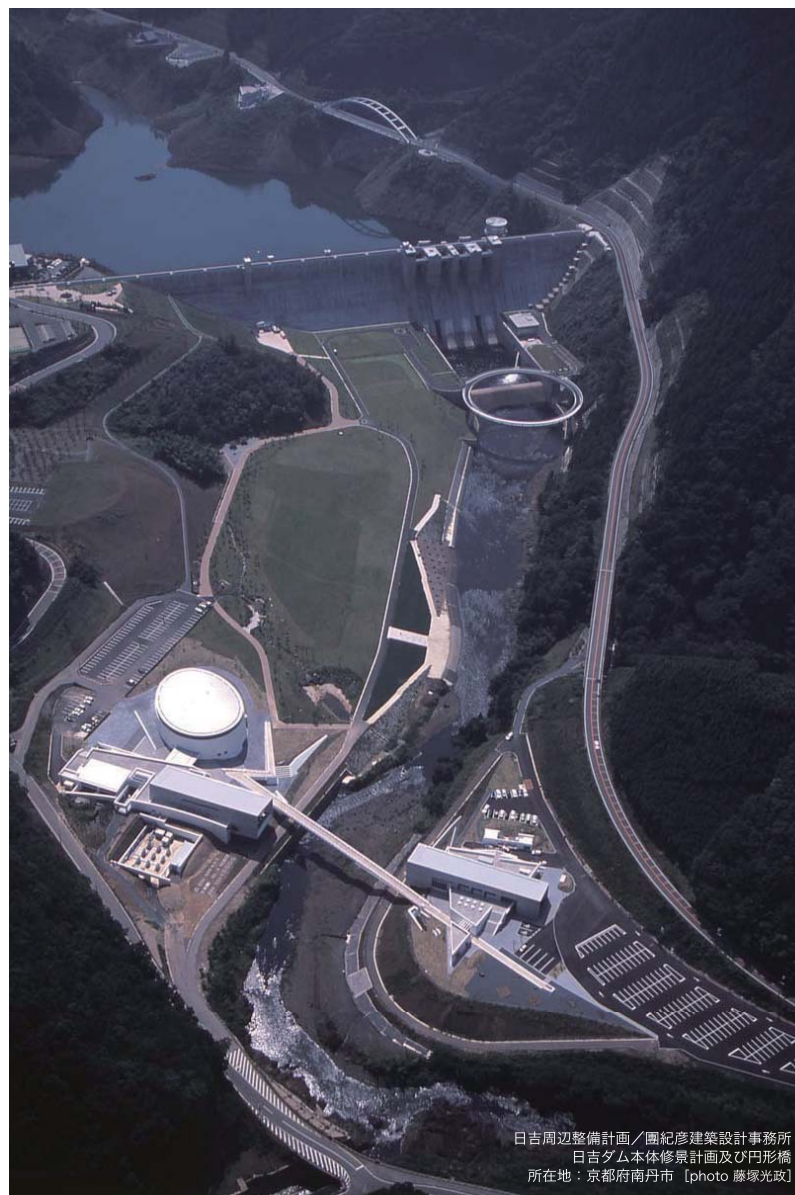


1956年神奈川県生まれ。1979年東京大学工学部建築学科卒業。同大学院で横文彦に師事。1984年米国イェール大学建築学部大学院卒業。愛知万博日本誘致案の作成に参画。誘致後の日本政府による環境重視型原案の棄却と平場造成の復活に対し、旧来の日本の開発手法を厳しく批判、海上(かいしよ)の森の保全に道を開いた。代表作として台北桃園国際空港、日月潭風景管理処の計画および表参道keyakiビル、国内では日本橋室町東地区のマスターアーキテクトとして街路再生型都市計画を実践するなど内外の計画で国際的に注目される。[photo 藤塚光政]

質疑応答

閉会の挨拶

茨城大学工学部 都市システム工学部門長 呉 智深



日吉周辺整備計画／團紀彦建築設計事務所
日吉ダム本体修景計画及び円形橋
所在地：京都府南丹市 [photo 藤塚光政]



会場アクセス

茨城県水戸市文京2丁目1-1
茨城大学水戸キャンパス内

*JR水戸駅(北口)バスターミナル
7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗車、「茨大前」
で下車。バス乗車時間は約25分。

お問い合わせ

茨城大学工学部 都市システム工学科(日立キャンパス内) 准教授 熊澤貴之
TEL:0294-38-5165 E-mail:takayuki.kumazawa.1@vc.ibaraki.ac.jp

主催：茨城大学

共催：公益社団法人土木学会関東支部茨城会／日本建築学会関東支部茨城支所

後援：茨城県／水戸市／日立市